



国際ローター第2680地区
Rotary
加古川ロータークラブ



2018-19年度RI会長: パリー・ラシン / 地区ガバナー: 次野 宗司
加古川ロータークラブ会長: 岡田 義則 / 幹事: 水川 典明
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町満之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

平成31年3月12日(火) 晴 No33



▲会長の時間



▲鎮西委員長



▲ゲスト卓話の西倉宏氏

会長挨拶

会長 岡田 義則

皆さんこんにちは、本日は環境フォーラムということで環境保全委員会の担当で鎮西委員長と山路会員の御尽力で多木化学の常務取締役研究所長、西倉宏様をお迎えしています。この後の30分間、宜しくお願いいたします。

今日も会長の時間は先週に引き続き環境についてお話したいと思います。環境問題のニュースを検索してみますと『環境問題』に関するニュース記事一覧、というのがあってトピックスで扱われた注目ニュースが掲載してあります。

それを少し紹介いたします。

1) 太平洋のマーシャル諸島が水没の危機 陸地のかさ上げ計画を検討。

2019年2月23日 16時12分

【AFP=時事】太平洋の島諸国マーシャル諸島は、海面上昇によって島々が沈没するのを防ぐために陸地をかさ上げする必要があると、同国のヒルダ・ハイネ (Hilda Heine) 大統領が22日に警鐘を鳴らした。マーシャル諸島では、29のサンゴ環礁に点在する1156の島々のうち、どの島なら、かさ上げが可能かについての協議が進められている。大半の島々の海拔は2メートル未満で、政府は陸地のかさ上げこそが同国を消滅から守る唯一の方法である。

2) 南米大陸の氷河で最高気温 35.6度を観測 異常気象やまず。

2019年2月6日 11時16分

世界気象機関は5日、世界各地を襲っている異常気象について発表した。

2月も南半球を中心に異常が続き、南米大陸の氷河では最高気温 35.6度を観測、オーストラリアでは記録的な大雨となり、各地で洪水警報が出された。

3) ヒマラヤ氷河に危機 21世紀中に3分の1が消失する恐れ。

2019年2月5日 16時10分

ヒマラヤ地域の国際機関・国際総合山岳開発センターがレポートを発表した。

ヒマラヤ一帯の氷河の、3分の1以上が21世紀中に消失する恐れがあると警告、消失すれば、中国からインドに至る地域の農業に悪影響がおよぼしている。

最後は、昨年12月にニュース速報となりました次は日本の話です。

4) 日本の砂浜がピンチ 温暖化で6割の沿岸で完全消滅のおそれ。

2018年12月12日 23時2分 ライブドアニュース速報

日本の砂浜が危険にひんしている。地球温暖化による海面上昇の影響で、最悪の場合、今世紀末までに日本の9割の沿岸で砂浜の面積が半分以上減るほか、6割が完全に消えるおそれのあることが国の研究機関などの分析で分かった。とNHKニュースが報じた。これは、国連のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）が2014年に公表し報告書のデータなどを基に、国立環境研究所や大学など28の機関で作る研究グループが分析したものの発表。

こういう状況の中、持続的に成長を続けながら環境を改善できるのでしょうか。脱炭素社会なんて出来るのでしょうか、東日本大震災から8年を迎えたこんな時に言うことは顰蹙を浴びるとは思いますが世界で5番目に多く二酸化炭素を排出している日本にとって脱炭素社会の実現に明確な答えが出せないなら、具体的な技術の確立と答えが出るかどうかはわかりませんが、それまでの数十年間、時間稼ぎとしてでも原発の再稼働を早くすべきであると個人的に思っています。大きな声では言えないですが、そう思っている方は少なくないと思っています。絶対安全なんて世の中に存在しません。自動車社会では命を奪う事故の確率は格段に高いのに（国内でも年間数千人に命が奪われています。）便利さを優先しています。人類の技術でそれまで安全に稼働してきた脱炭素社会の象徴の様な原発を震災後早急に無くすというのはいかがなものかと思えます。2017年ドイツで行われたCOP23で環境先進国のレッテルを貼られたお話は御存じだと思います。そんなことを偉そうに言っている私自身が叫ぶばかりで何もやっていないのが現状です。これで会長の時間を終わります。

幹事報告

- 1) ☆他クラブニュース
例会変更のお知らせ
高砂RC ◇4月19日(金)→献血例会のため(高砂青松 RC と合同)
於;イオン・アイモール高砂
ショッピングセンター内駐車場
高砂青松 RC ◇4月 3日(水)→観桜例会のため 4月6日(土)午後6時～
於;十輪寺
◇4月17日(水)→献血例会のため(青松 RC と合同)
4月19日(金)午前10時～午後3時30分
於;イオン・アイモール高砂
ショッピングセンター内駐車場
- 2) 京都桂川RCより「第22回川クラブ友好の集い」のご案内がきております。
日時:2019年5月12日(日)雨天決行
詳細は事務局までお問い合わせ下さい。申し込み締め切り4月11日(木)

ニコニコ



- 省 略 ☺ 多木化学(株)西倉宏様、本日の卓話お世話になります。宜しく
お願いします。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございました。
- 省 略 ☺ 西倉様本日は大変お世話になります。よろしくお願ひ致します。

- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 西倉さんのお話で学びます。山路会員ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 今日は「水と衛生月間」ということで当社の西倉がお話しさせていただきます。よろしく願い致します。
- 省 略 ☺ 西倉宏様ようこそいらっしゃいました。
- 省 略 ☺ 五田さん、4月末までサウジアラビア。お気をつけて。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ いつも写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真有難うございます。
- 省 略 ☺# 写真をありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上21件 ¥30,000-
本年度累計¥1,713,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 74 名 出席 43 名 出席免除 15 名 欠席 16 名 72.88%
- ☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数 74 名 出席 43 名 出席免除 16 名 欠席 15 名 74.13%
- ☆ ゲ ス ト 多木化学(株)常務取締役 研究所長 西倉 宏氏
- ☆ メークアップ 3/6 加古川平成 RC 松井、橋本真、前川真、正木、富田

親睦活動委員会

- 例会場当番
- 3月19日(火) 宮地、今村
- 4月 2日(火) 太田、穴田



プログラム委員会

本日3月12日(火)	3月19日(火)	3月26日(火)	4月2日(火)
フォーラム 「水と宇宙、水と地球、 水と人間」 多木化学(株) 常務取締役 研究所長 西倉 宏氏 環境保全(委)担当	ゲスト卓話 「兵庫運河の生き物 たち」 兵庫運河を 美しくする会 安井 幸雄氏	例会取り止め 【定款第8条 第1節(C)】	クラブ協議会 地区大会後



ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっていようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするので、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

A handwritten signature in black ink, reading "Mark Moroney". The signature is written in a cursive, flowing style.

2019-20年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー